

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2017年11月8日〔当初、無期限〕まで（2008年7月23日設定）
運用方針	主として国際機関等が発行するニュージーランドドル建ての債券に投資を行います。投資する国際機関債は、原則として、取得時においてAAA格相当の格付けを取得しており、残存期間が5年以内のものに限ります。なお、ファンドの流動性等を勘案して、一部、残存期間5年以内のニュージーランドの国債に投資する場合があります。ファンドの組入債券の平均残存期間は、原則として3年以内とします。組入れにあたっては、利回り水準や流動性等を勘案し、銘柄選択を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には上記安定分配相当額のほか、経費等控除後の配当等収益および売買益等の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 償還報告書（全体版）

[繰上償還]

三菱UFJ

### 国際機関債券ファンド （毎月決算・ニュージーランドドル型）



第106期（決算日：2017年7月10日）  
 第107期（決算日：2017年8月9日）  
 第108期（決算日：2017年9月11日）  
 第109期（決算日：2017年10月10日）  
 信託終了日：2017年11月8日



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「三菱UFJ 国際機関債券ファンド（毎月決算・ニュージーランドドル型）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、11月8日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034  
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)  
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近29期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	標準価額		(参考指数) シティニュージーランド 国債インデックス (1-5年、円換算ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税込 分配	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円 銭	円	%	%	%	%	%	百万円
82期(2015年7月9日)	9,598	60	△7.5	34,575.75	△7.1	97.9	—	335
83期(2015年8月10日)	9,704	60	1.7	35,236.08	1.9	97.4	—	347
84期(2015年9月9日)	9,039	60	△6.2	33,022.54	△6.3	98.0	—	323
85期(2015年10月9日)	9,387	60	4.5	34,460.19	4.4	96.9	—	328
86期(2015年11月9日)	9,385	60	0.6	34,713.57	0.7	97.4	—	327
87期(2015年12月9日)	9,460	60	1.4	35,268.23	1.6	98.2	—	330
88期(2016年1月12日)	8,910	60	△5.2	33,558.69	△4.8	97.0	—	313
89期(2016年2月9日)	8,759	60	△1.0	33,172.56	△1.2	97.4	—	312
90期(2016年3月9日)	8,722	60	0.3	33,328.43	0.5	97.6	—	311
91期(2016年4月11日)	8,473	60	△2.2	32,633.58	△2.1	97.3	—	304
92期(2016年5月9日)	8,407	60	△0.1	32,609.09	△0.1	97.8	—	303
93期(2016年6月9日)	8,624	60	3.3	33,754.34	3.5	96.7	—	316
94期(2016年7月11日)	8,299	60	△3.1	32,777.96	△2.9	94.1	—	311
95期(2016年8月9日)	8,268	60	0.3	32,928.34	0.5	97.4	—	313
96期(2016年9月9日)	8,500	60	3.5	34,076.95	3.5	98.6	—	318
97期(2016年10月11日)	8,217	60	△2.6	33,138.09	△2.8	97.3	—	305
98期(2016年11月9日)	8,313	60	1.9	33,779.52	1.9	94.9	—	309
99期(2016年12月9日)	8,964	40	8.3	36,610.52	8.4	96.0	—	326
100期(2017年1月10日)	8,835	40	△1.0	36,300.52	△0.8	96.1	—	297
101期(2017年2月9日)	8,783	40	△0.1	36,247.24	△0.1	95.4	—	293
102期(2017年3月9日)	8,571	40	△2.0	35,492.62	△2.1	96.1	—	285
103期(2017年4月10日)	8,388	40	△1.7	34,873.61	△1.7	96.6	—	285
104期(2017年5月9日)	8,468	40	1.4	35,409.24	1.5	96.6	—	289
105期(2017年6月9日)	8,594	40	2.0	36,146.15	2.1	97.9	—	289
106期(2017年7月10日)	8,925	40	4.3	37,670.24	4.2	96.2	—	301
107期(2017年8月9日)	8,667	40	△2.4	36,799.50	△2.3	95.5	—	294
108期(2017年9月11日)	8,434	40	△2.2	35,934.80	△2.3	97.5	—	303
109期(2017年10月10日)	8,528	40	1.6	36,525.13	1.6	96.4	—	281
(償還時)	(償還価額)							
110期(2017年11月8日)	8,596.83	—	0.8	36,147.98	△1.0	—	—	262

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティニュージーランド国債インデックス（1－5年）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、ニュージーランドの国債（残存期間1－5年）の総合収益率を指数化した債券インデックスです。シティニュージーランド国債インデックス（1－5年、円換算ベース）とは、シティニュージーランド国債インデックス（1－5年、ニュージーランドドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) シティニュージーランド 国債インデックス <small>(1-年、円建て)</small>		債組入比率	債券先物比率
		円 銭	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第106期	(期首) 2017年6月9日	8,594	—	36,146.15	—	97.9	—
	6月末	8,868	3.2	37,284.09	3.1	97.3	—
	(期末) 2017年7月10日	8,965	4.3	37,670.24	4.2	96.2	—
第107期	(期首) 2017年7月10日	8,925	—	37,670.24	—	96.2	—
	7月末	8,954	0.3	37,826.26	0.4	96.2	—
	(期末) 2017年8月9日	8,707	△2.4	36,799.50	△2.3	95.5	—
第108期	(期首) 2017年8月9日	8,667	—	36,799.50	—	95.5	—
	8月末	8,577	△1.0	36,393.26	△1.1	96.4	—
	(期末) 2017年9月11日	8,474	△2.2	35,934.80	△2.3	97.5	—
第109期	(期首) 2017年9月11日	8,434	—	35,934.80	—	97.5	—
	9月末	8,735	3.6	37,262.89	3.7	96.9	—
	(期末) 2017年10月10日	8,568	1.6	36,525.13	1.6	96.4	—
第110期	(期首) 2017年10月10日	8,528	—	36,525.13	—	96.4	—
	10月末	8,600	0.8	35,639.76	△2.4	—	—
	(償還時) 2017年11月8日	(償還価額) 8,596.83	0.8	36,147.98	△1.0	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

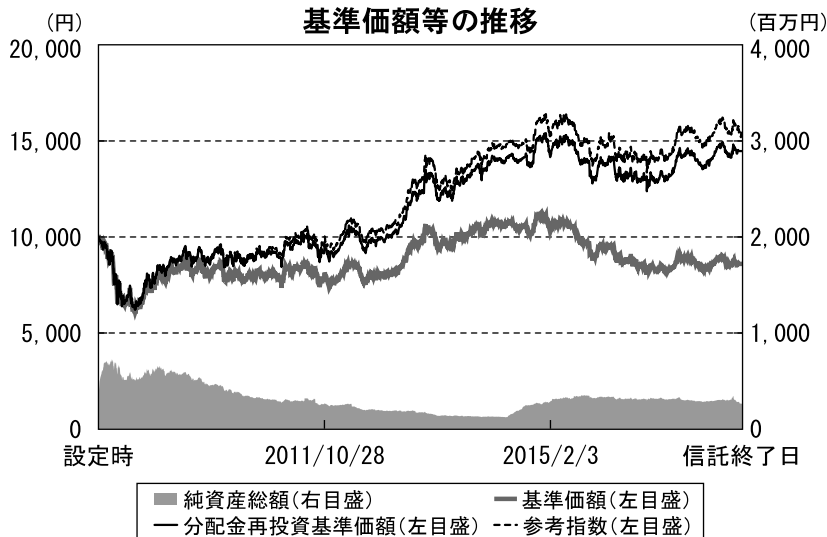
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

設定来の基準価額等の推移について （第1期～第110期：2008/7/23～2017/11/8）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ44.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

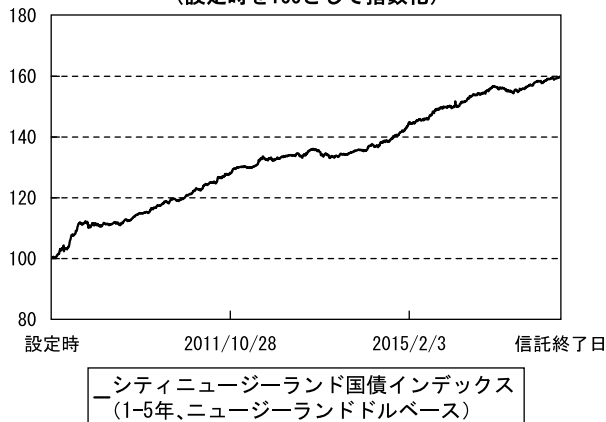
## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ニュージーランドドルが対円で小幅に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第1期～第110期：2008/7/23～2017/11/8）

### 債券市況の推移 （設定時を100として指数化）



（注）現地日付ベースで記載しております。

### ◎債券市況

- ・設定時から2009年前半にかけては、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が世界的な金融市場の混乱に起因した景気悪化懸念の高まりを背景に継続的に利下げを実施し、ニュージーランド金利は低下しました。
- ・その後、2009年後半にかけては、世界的に景気は改善しつつあるとの見方が広がり、株式市況や商品市況が上昇したことなどを背景に投資家のリスク許容度が高まったことや、ニュージーランド国内の消費や企業関連の指標が改善したことなどから、ニュージーランド金利は上昇基調となりました。

- ・2010年前半から2012年後半にかけては、ユーロ圏においてギリシャをはじめとした南欧諸国の財政問題などを受けて、投資家の質への逃避的な動きが強まった結果、ニュージーランドなどの相対的に財政状況が健全とみられる先進国の債券が買われたことや、2011年2月にクライストチャーチ近郊で発生した大地震などを背景にニュージーランド金利は低下基調となりました。
- ・2012年後半から2014年半ばにかけては、欧州中央銀行（ECB）が国債買い入れプログラム（OMT）の概要を発表したことなどを背景に、欧州債務問題に対する懸念が後退したことや、米国の量的金融緩和政策における資産購入ペースの早期縮小に対する懸念が高まったことなどから、ニュージーランド金利は上昇基調となりました。
- ・2014年半ばから2016年半ばにかけては、ニュージーランドの主要輸出品である乳製品価格が下落したことや同国の物価の低迷を背景にRBNZが継続的に利下げを実施したことなどから、ニュージーランド金利は低下基調となりました。
- ・2016年半ば以降は、同年11月上旬に実施された米大統領選の結果を受け、2017年以降の財政出動による景気押し上げ期待や、米連邦公開市場委員会（FOMC）による追加利上げのペースが速まるとの思惑が台頭したことなどから、米国金利が上昇する中、ニュージーランド金利は上昇基調となりました。その後、償還時にかけては、RBNZがインフレ率の持続的な加速には懐疑的な見方を示し金融緩和が今後も継続することを示唆したことなどから、ニュージーランド金利は低下基調となりました。

為替市況の推移  
（設定時を100として指数化）



◎為替市況

・設定時に比べ、ニュージーランドドルは対円で小幅に下落しました。2009年前半にかけては世界的な景気悪化懸念の高まりなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、円が主要通貨に対して買われた結果、ニュージーランドドルは対円で下落しました。2012年半ばまでは概ねレンジ内の推移となったものの、その後、2014年後半にかけては、大規模な金融緩和強化策が日銀から発表されたことなどを背景に、円が主要通貨に対して売られる展開となり、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。2015年以降は、ニュージーランドの主要輸出産品である乳製品価格が下落したことや、ニュージーランド金利の低下により本邦との金利差が縮小したことなどから、ニュージーランドドルは対円で下落基調となり、設定時と比べると、ニュージーランドドルは対円で小幅に下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

◎運用経過

・残存期間5年以内のニュージーランドドル建ての国際機関債で運用を行いました。

◎組入比率

・ニュージーランドドル建ての国際機関債で90%以上の組入比率を維持しました。組み入れにあたっては、利回り水準や流動性等を勘案し銘柄選択を行いました。  
・前記の運用を行った結果、ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額にプラスに寄与し、信託期間を通じてみると、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<第1作成期（第1期～第3期：設定時～2008年12月9日）>

基準価額は設定時に比べ32.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

<第2作成期（第4期～第9期：2008年12月10日～2009年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ24.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したことに加え、債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。

<第3作成期（第10期～第15期：2009年6月10日～2009年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランド金利が上昇したことなどがマイナス要因となった一方、債券利子収入を享受したことやニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第4作成期（第16期～第21期：2009年12月10日～2010年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

<第5作成期（第22期～第27期：2010年6月10日～2010年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ5.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことに加え、ニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第6作成期（第28期～第33期：2010年12月10日～2011年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ7.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことに加え、ニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第7作成期（第34期～第39期：2011年6月10日～2011年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

<第8作成期（第40期～第45期：2011年12月10日～2012年6月11日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことに加え、ニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第9作成期（第46期～第51期：2012年6月12日～2012年12月10日）>

基準価額は当作成期首に比べ12.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。

<第10作成期（第52期～第57期：2012年12月11日～2013年6月10日）>

基準価額は当作成期首に比べ12.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。

<第11作成期（第58期～第63期：2013年6月11日～2013年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ11.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。

<第12作成期（第64期～第69期：2013年12月10日～2014年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・債券利子収入を享受したことやニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第13作成期（第70期～第75期：2014年6月10日～2014年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ8.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことに加え、ニュージーランドドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となりました。

<第14作成期（第76期～第81期：2014年12月10日～2015年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

<第15作成期（第82期～第87期：2015年6月10日～2015年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ5.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。



<第16作成期（第88期～第93期：2015年12月10日～2016年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

<第17作成期（第94期～第99期：2016年6月10日～2016年12月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ8.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。

<第18作成期（第100期～第105期：2016年12月10日～2017年6月9日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ニュージーランド金利が低下したことや債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となったものの、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

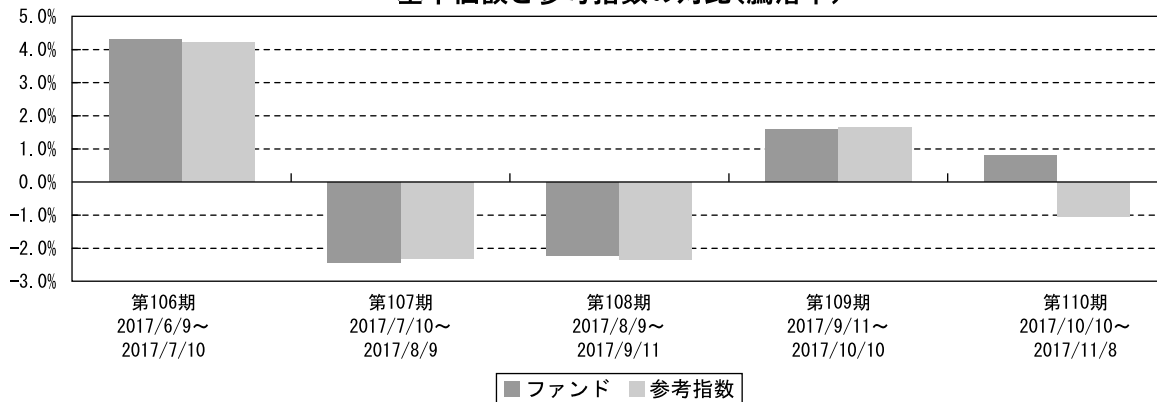
<第19作成期（第106期～第110期：2017年6月10日～信託終了日）>

償還価額は当作成期首に比べ1.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となりました。
- ・繰上償還決定後の2017年10月17日に保有債券の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第106期～第110期：2017/6/10～信託終了日）

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はシティニュージーランド国債インデックス（1－5年、円換算ベース）です。
- ・なお、設定来の基準価額は44.7%（分配金再投資ベース）の上昇、参考指数は54.2%の上昇となりました。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第1期から第2期は45円、第3期から第51期は35円、第52期から第62期は25円、第63期は30円、第64期から第68期は25円、第69期は100円、第70期から第74期は60円、第75期は100円、第76期から第80期は60円、第81期は100円、第82期から第98期は60円、第99期から第109期は40円とさせていただきます。信託期間中、累計で4,595円の分配を行わせていただきました。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第106期	第107期	第108期	第109期
	2017年6月10日～ 2017年7月10日	2017年7月11日～ 2017年8月9日	2017年8月10日～ 2017年9月11日	2017年9月12日～ 2017年10月10日
当期分配金	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.446%	0.459%	0.472%	0.467%
当期の収益	29	19	21	24
当期の収益以外	11	20	19	16
翌期繰越分配対象額	1,337	1,317	1,299	1,284

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 償還価額

償還価額は8,596円83銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2017年6月10日～2017年11月8日）

項 目	第106期～第110期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(16)	(0.181)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.227)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.023)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.039	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 3)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	41	0.469	
作成期中の平均基準価額は、8,746円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

（2017年6月10日～2017年11月8日）

## 公 社 債

			第106期～第110期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ニュージーランド	特殊債券	千ニュージーランドドル 671	千ニュージーランドドル 4,226

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年6月10日～2017年11月8日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	第106期～第110期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 32	百万円 20	% 62.5	百万円 328	百万円 293	% 89.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2017年11月8日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2017年11月8日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 262,278	% 100.0
投資信託財産総額	262,278	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	償 還 時
	2017年7月10日現在	2017年8月9日現在	2017年9月11日現在	2017年10月10日現在	2017年11月8日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	303,623,253	298,875,890	316,075,345	289,494,578	262,278,957
コール・ローン等	9,921,115	6,705,491	12,082,147	9,954,016	262,278,957
公社債(評価額)	290,303,631	281,343,057	295,652,542	271,037,358	—
未収入金	—	6,609,211	5,485,200	6,524,148	—
未収利息	3,150,077	3,745,136	2,105,903	1,718,416	—
前払費用	195,108	401,310	659,833	150,858	—
その他未収収益	53,322	71,685	89,720	109,782	—
(B) 負債	1,819,762	4,198,453	12,875,124	8,275,702	253,225
未払金	—	2,412,900	11,158,089	2,392,500	—
未払収益分配金	1,352,637	1,360,050	1,438,014	1,319,101	—
未払解約金	208,208	169,326	—	4,310,132	30,368
未払信託報酬	257,780	255,057	277,785	252,855	221,457
未払利息	5	2	21	5	433
その他未払費用	1,132	1,118	1,215	1,109	967
(C) 純資産総額(A-B)	301,803,491	294,677,437	303,200,221	281,218,876	262,025,732
元本	338,159,412	340,012,591	359,503,668	329,775,266	304,793,483
次期繰越損益金	△ 36,355,921	△ 45,335,154	△ 56,303,447	△ 48,556,390	—
償還差損金	—	—	—	—	△ 42,767,751
(D) 受益権総口数	338,159,412口	340,012,591口	359,503,668口	329,775,266口	304,793,483口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,925円	8,667円	8,434円	8,528円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	8,596円83銭

## ○損益の状況

項 目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2017年6月10日～ 2017年7月10日	2017年7月11日～ 2017年8月9日	2017年8月10日～ 2017年9月11日	2017年9月12日～ 2017年10月10日	2017年10月11日～ 2017年11月8日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,020,862	948,313	1,034,379	871,479	275,628
受取利息	1,005,239	934,095	1,019,847	1,041,994	266,278
その他収益金	15,726	14,347	14,820	△ 172,489	16,723
支払利息	△ 103	△ 129	△ 288	1,974	△ 7,373
(B) 有価証券売買損益	11,714,410	△ 8,074,214	△ 7,451,967	3,078,835	2,120,615
売買益	13,175,497	1,277,191	269,265	4,125,250	2,153,863
売買損	△ 1,461,087	△ 9,351,405	△ 7,721,232	△ 1,046,415	△ 33,248
(C) 信託報酬等	△ 263,116	△ 283,632	△ 279,000	△ 266,817	△ 287,070
(D) 当期損益金(A+B+C)	12,472,156	△ 7,409,533	△ 6,696,588	3,683,497	2,109,173
(E) 前期繰越損益金	△34,515,961	△22,610,321	△29,925,289	△30,494,248	△25,485,438
(F) 追加信託差損益金	△12,959,479	△13,955,250	△18,243,556	△20,426,538	△19,391,486
(配当等相当額)	( 45,571,086)	( 45,455,257)	( 47,375,417)	( 42,851,534)	( 39,117,823)
(売買損益相当額)	(△58,530,565)	(△59,410,507)	(△65,618,973)	(△63,278,072)	(△58,509,309)
(G) 計(D+E+F)	△35,003,284	△43,975,104	△54,865,433	△47,237,289	—
(H) 収益分配金	△ 1,352,637	△ 1,360,050	△ 1,438,014	△ 1,319,101	—
次期繰越損益金(G+H)	△36,355,921	△45,335,154	△56,303,447	△48,556,390	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	△42,767,751
追加信託差損益金	△13,331,454	△14,635,275	△18,926,613	△20,954,179	—
(配当等相当額)	( 45,199,111)	( 44,775,232)	( 46,692,360)	( 42,323,893)	( —)
(売買損益相当額)	(△58,530,565)	(△59,410,507)	(△65,618,973)	(△63,278,072)	( —)
分配準備積立金	24,096	8,489	8,822	28,399	—
繰越損益金	△23,048,563	△30,708,368	△37,385,656	△27,630,610	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 336,449,478円  
 作成期中追加設定元本額 83,570,015円  
 作成期中一部解約元本額 115,226,010円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.859683円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は42,767,751円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2017年6月10日～ 2017年7月10日	2017年7月11日～ 2017年8月9日	2017年8月10日～ 2017年9月11日	2017年9月12日～ 2017年10月10日
費用控除後の配当等収益額	999,760円	664,681円	755,379円	812,619円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	45,571,086円	45,455,257円	47,375,417円	42,851,534円
分配準備積立金額	4,998円	23,833円	8,400円	7,240円
当ファンドの分配対象収益額	46,575,844円	46,143,771円	48,139,196円	43,671,393円
1万口当たり収益分配対象額	1,377円	1,357円	1,339円	1,324円
1万口当たり分配金額	40円	40円	40円	40円
収益分配金金額	1,352,637円	1,360,050円	1,438,014円	1,319,101円

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年7月23日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年11月8日		資産総額	262,278,957円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	253,225円
				純資産総額	262,025,732円
受益権口数	404,731,643口	304,793,483口	△99,938,160口	受益権口数	304,793,483口
元本額	404,731,643円	304,793,483円	△99,938,160円	1万円当たり償還金	8,596円83銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	811,084,668円	610,752,493円	7,530円	45円	0.45%
第2期	866,864,875	656,547,764	7,574	45	0.45
第3期	776,846,597	512,720,861	6,600	35	0.35
第4期	810,156,338	573,214,807	7,075	35	0.35
第5期	829,621,067	537,038,000	6,473	35	0.35
第6期	816,494,289	534,325,719	6,544	35	0.35
第7期	801,310,729	602,224,994	7,515	35	0.35
第8期	807,623,435	627,628,971	7,771	35	0.35
第9期	797,199,412	635,634,391	7,973	35	0.35
第10期	727,074,408	550,784,300	7,575	35	0.35
第11期	726,300,392	614,560,019	8,462	35	0.35
第12期	699,458,994	583,104,237	8,337	35	0.35
第13期	676,531,827	574,009,250	8,485	35	0.35
第14期	667,754,140	567,616,389	8,500	35	0.35
第15期	614,838,531	495,795,682	8,064	35	0.35
第16期	612,915,717	535,389,084	8,735	35	0.35
第17期	586,866,099	460,203,334	7,842	35	0.35
第18期	561,972,500	454,231,193	8,083	35	0.35
第19期	546,964,910	462,976,913	8,464	35	0.35
第20期	526,175,037	443,044,083	8,420	35	0.35
第21期	504,897,891	391,671,399	7,757	35	0.35
第22期	475,644,174	381,678,953	8,024	35	0.35
第23期	467,970,267	375,434,958	8,023	35	0.35
第24期	441,273,552	343,143,531	7,776	35	0.35
第25期	412,905,453	327,661,612	7,936	35	0.35
第26期	401,594,718	326,764,170	8,137	35	0.35
第27期	388,876,393	310,842,481	7,993	35	0.35
第28期	381,141,302	306,259,387	8,035	35	0.35
第29期	376,718,796	304,684,885	8,088	35	0.35
第30期	364,926,353	286,061,167	7,839	35	0.35
第31期	363,578,819	307,907,579	8,469	35	0.35



## 三菱UFJ 国際機関債券ファンド（毎月決算・ニュージーランドドル型）

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	350,618,216円	284,877,348円	8,125円	35円	0.35%
第33期	350,075,692	293,880,461	8,395	35	0.35
第34期	340,076,919	290,960,806	8,556	35	0.35
第35期	366,321,211	295,385,055	8,064	35	0.35
第36期	331,715,434	274,125,618	8,264	35	0.35
第37期	330,692,944	253,267,380	7,659	35	0.35
第38期	327,650,625	258,862,889	7,901	35	0.35
第39期	319,275,595	245,354,471	7,685	35	0.35
第40期	316,074,192	244,351,434	7,731	35	0.35
第41期	305,616,270	249,075,041	8,150	35	0.35
第42期	303,619,883	258,131,179	8,502	35	0.35
第43期	269,585,655	226,479,915	8,401	35	0.35
第44期	255,938,628	204,879,160	8,005	35	0.35
第45期	252,532,744	198,190,896	7,848	35	0.35
第46期	252,829,837	202,071,467	7,992	35	0.35
第47期	244,067,669	195,725,439	8,019	35	0.35
第48期	232,423,189	185,248,267	7,970	35	0.35
第49期	230,391,947	185,905,184	8,069	35	0.35
第50期	230,938,278	187,179,831	8,105	35	0.35
第51期	210,488,444	180,350,075	8,568	35	0.35
第52期	205,834,916	186,649,351	9,068	25	0.25
第53期	192,567,866	187,771,162	9,751	25	0.25
第54期	176,530,944	172,080,099	9,748	25	0.25
第55期	169,653,304	177,217,419	10,446	25	0.25
第56期	150,884,778	156,374,010	10,364	25	0.25
第57期	146,611,934	139,690,520	9,528	25	0.25
第58期	144,354,262	139,360,895	9,654	25	0.25
第59期	141,765,048	134,461,571	9,485	25	0.25
第60期	141,827,603	137,767,067	9,714	25	0.25
第61期	133,743,266	131,944,239	9,865	25	0.25
第62期	130,812,490	131,277,365	10,036	25	0.25
第63期	125,336,145	130,491,874	10,411	30	0.30
第64期	122,994,424	129,840,575	10,557	25	0.25
第65期	121,954,656	126,137,166	10,343	25	0.25
第66期	121,482,707	129,431,774	10,654	25	0.25
第67期	117,469,178	126,390,637	10,759	25	0.25
第68期	117,808,528	126,129,594	10,706	25	0.25
第69期	114,404,712	120,994,937	10,576	100	1.00
第70期	143,754,525	154,272,632	10,732	60	0.60
第71期	180,948,972	188,418,787	10,413	60	0.60

## 三菱UFJ 国際機関債券ファンド（毎月決算・ニュージーランドドル型）

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第72期	220,663,978円	232,366,657円	10,530円	60円	0.60%
第73期	240,491,019	246,809,912	10,263	60	0.60
第74期	245,133,480	260,549,680	10,629	60	0.60
第75期	233,823,367	257,397,118	11,008	100	1.00
第76期	253,567,440	283,060,537	11,163	60	0.60
第77期	279,840,143	292,286,092	10,445	60	0.60
第78期	292,878,259	309,505,134	10,568	60	0.60
第79期	302,895,914	326,193,665	10,769	60	0.60
第80期	302,016,432	317,372,355	10,508	60	0.60
第81期	324,288,700	338,620,577	10,442	100	1.00
第82期	349,868,446	335,818,595	9,598	60	0.60
第83期	357,768,301	347,168,003	9,704	60	0.60
第84期	357,825,741	323,456,017	9,039	60	0.60
第85期	349,990,297	328,538,151	9,387	60	0.60
第86期	349,338,789	327,852,283	9,385	60	0.60
第87期	349,096,389	330,242,540	9,460	60	0.60
第88期	351,287,801	313,002,592	8,910	60	0.60
第89期	356,221,996	312,016,466	8,759	60	0.60
第90期	357,155,760	311,500,873	8,722	60	0.60
第91期	359,760,674	304,834,518	8,473	60	0.60
第92期	361,155,605	303,628,873	8,407	60	0.60
第93期	366,943,991	316,467,161	8,624	60	0.60
第94期	375,826,778	311,880,255	8,299	60	0.60
第95期	379,440,979	313,703,353	8,268	60	0.60
第96期	374,997,182	318,752,060	8,500	60	0.60
第97期	371,986,256	305,643,781	8,217	60	0.60
第98期	372,421,811	309,595,486	8,313	60	0.60
第99期	364,176,774	326,464,207	8,964	40	0.40
第100期	336,292,489	297,119,479	8,835	40	0.40
第101期	334,463,466	293,752,026	8,783	40	0.40
第102期	333,240,423	285,612,589	8,571	40	0.40
第103期	340,486,938	285,604,274	8,388	40	0.40
第104期	341,438,479	289,121,837	8,468	40	0.40
第105期	336,449,478	289,156,598	8,594	40	0.40
第106期	338,159,412	301,803,491	8,925	40	0.40
第107期	340,012,591	294,677,437	8,667	40	0.40
第108期	359,503,668	303,200,221	8,434	40	0.40
第109期	329,775,266	281,218,876	8,528	40	0.40

## ○分配金のお知らせ

	第106期	第107期	第108期	第109期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	8,596円83銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

### 【お知らせ】

- ①2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。
- ②受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。  
(2017年11月8日)